

令和4年度 大阪市版チャレンジテストplus 出題範囲・内容

I. [社会] の分野別出題範囲・内容

1 学習指導要領の指導内容

①テスト問題は、中学校学習指導要領社会(平成29年告示)の目標及び内容に基づき、下記の点を踏まえて作成する。

- 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを問う内容
- 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容
- 大阪市が採択する各者の教科書において、扱いが同程度の内容

②以下の内容を出題範囲とする。

分野別出題範囲

以下は、学習指導要領記載の内容項目

地理的分野	歴史的分野
A 世界と日本の地域構成 B 世界の様々な地域 (1) 世界各地の人々の生活と環境 (2) 世界の諸地域 ①アジア	A 歴史との対話 B 近世までの日本とアジア (1) 古代までの日本
帝国 P. 2 ～ P. 65	帝国 P. 1 ～ P. 57 日文 P. 6 ～ P. 63 東書 P. 6 ～ P. 61

※ 上記以外のページにある資料等(年表、演習、コラムなど)で、上記出題範囲の内容であるものも含む。

Ⅱ. [理科]の出題範囲・内容

1 テスト問題について

テスト問題は、以下の「中学校第1学年（領域別出題範囲）」に示す範囲で「理科A問題」「理科B問題」を作成する。

なお、「理科A問題」は、「中学校第1学年（領域別出題範囲）」に示す、「生物的領域（共通）」、「物理的領域（選択）」をあわせたものとする。また、「理科B問題」は、「生物的領域（共通）」、「化学的領域（選択）」をあわせたものとする。

2 学習指導要領の指導内容

①テスト問題は、中学校学習指導要領理科(平成29年告示)の目標及び内容に基づき、下記の点を踏まえて作成する。

- 身に付けておかなければ後の学年等の学習内容に影響を及ぼす内容や、実生活において不可欠であり常に活用できるようになっていることが望ましい知識・技能などを問う内容
- 知識・技能等を実生活の様々な場面に活用する力や、様々な課題解決のための構想を立て実践し評価・改善する力などにかかわる内容
- 大阪府が採択する各者の教科書において、扱いが同程度の内容

②以下の内容を出題範囲とする。

中学校第1学年（領域別出題範囲）

以下は、学習指導要領記載の内容項目

第1分野（物理領域、化学領域より選択）		第2分野
物理的領域（選択A）	化学的領域（選択B）	生物的領域（共通）
(1) 身近な物理現象 ア 光と音 (ア) 光の反射・屈折 (イ) 凸レンズの働き (ウ) 音の性質 イ 力と圧力 (ア) 力の働き	(2) 身の回りの物質 ア 物質のすがた (ア) 身の回りの物質とその性質 (イ) 気体の発生と性質 イ 水溶液 (ア) 水溶液 ウ 状態変化 (ア) 状態変化と熱 (イ) 物質の融点と沸点	(1) いろいろな生物とその共通点 ア 生物の観察と分類の仕方 (ア) 生物の観察 (イ) 生物の特徴と分類の仕方 イ 生物の体の共通点と相違点 (ア) 植物の体の共通点と相違点 (イ) 動物の体の共通点と相違点
啓林館 P. 204 ～ P. 265 東書 P. 142 ～ P. 193	啓林館 P. 138 ～ P. 203 東書 P. 72 ～ P. 141	啓林館 P. 2 ～ P. 63 東書 P. 10 ～ P. 71

※ 上記以外のページにある資料等（年表、演習、コラムなど）で、上記出題範囲の内容であるものも含む。